

住民の声を国政へ！

請願2件を採択し、 意見書を関係行政庁へ提出



町長提案説明の様子

第4回12月定例会

会期 12月4日～6日

本議会では、条例の制定や一部改正、補正予算など町長提出議案11件、請願5件、議員発議3件等が上程されました。慎重審議のうえ、請願1件を不採択、請願2件を継続審査、それ以外のすべての議案を可決しました。

また、町政に対する一般質問では、8人の議員が登壇し、町政発展に向けての活発な議論がなされました。(一般質問は、7頁～9頁に掲載しています。)

条例改正

・小鹿野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
少子化社会への対応、子育て支援の立場から町独自の多子世帯減免制度として、賦課する年度内に19歳未満の被保険者が3人以上いる場合、3人目以降の国民健康保険税を減税対象とするものです。

・小鹿野町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

国民健康保険町立小鹿野中央病院の病床を、現在の一般病床45床、療養病床50床から一般病床95床とするものです。

● 主な質疑 ●

Q どのような背景から、療養病床を無くし一般病床を増やすのか。

A 国の制度改正により、療養病床を転換していかなければ、今後の病院運営が難しくなるということです。転換後は、地域包括ケア病床として活用し、緩和ケア病床に移していくことも考えています。

補正予算

・平成30年度小鹿野町一般会計補正予算(第3号)

障害者自立支援費、未熟児医療給付費など医療福祉関係経費や飯田八幡神社文化遺産総合活用推進事業に関する補助金、故障した公用車を買替える経費など、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1510万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ72億2627万円とするものです。

条例改正、補正予算ともに、全会一致で、それぞれ原案のとおり可決しました。



請願のゆくえ

○東海第二原子力発電所の運転延長を行わないことを求める請願

請願者 秩父市 東海第二原発を考える秩父の会 代表 山田ナオミ

紹介議員 齋藤 維

請願審査 9月定例会で閉会中の継続審査となった本請願は、10月3日開催の総務常任委員会において審査した結果、「採択すべきもの」と決定し、12月定例会3日目（6日）において委員長が審査結果を報告しました。審議の結果、委員長の報告のとおり全会一致で採択され、次の意見書を内閣総理大臣、原子力規制委員会に提出しました。

東海第二原子力発電所の運転延長を行わないことを求める意見書

日本原子力発電株式会社は昨年11月24日、法律で制限された原子力発電所の運転期間40年を超えて、さらに20年の運転延長を原子力規制委員会に申請し、承認されました。東海第二原発の半径30km圏内には96万人が住んでいますが、周辺自治体の避難計画は不完全で、特に要支援の高齢者や障がい者は6万人に及ぶとされています。事故が起これば首都圏はもちろん埼玉県全域、そして小鹿野町まで甚大な被害をもたらすことは福島第一原発事故の経験から明白です。

原子炉等規制法の40年制限のルールは老朽化した原発の事故を防ぐための最低のルールであり、それを無視した運転延長は大きな不安をもたらします。

このような状況を踏まえ、下記の事項を求めます。

- 1 運転開始から約40年を超える東海第二原子力発電所は廃炉にすること。
- 2 東海第二原子力発電所廃炉後は、国が責任を持って地域経済を支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成30年12月6日

埼玉県秩父郡小鹿野町議会

○小鹿野町における受動喫煙防止対策に関する請願書

請願者 埼玉県さいたま市 埼玉県生活衛生同業組合連合会
会長 田村 眞 外14人

紹介議員 高橋耕也

請願審査 9月定例会で閉会中の継続審査となった本請願は、10月5日開催の文化厚生常任委員会において審査した結果、「不採択とすべきもの」と決定し、12月定例会3日目（6日）において委員長が審査結果を報告しました。審議の結果、委員長の報告のとおり不採択とすべきものとされました。

